



青年部

女性部

『食農活動』

JAあきた白神では、管内の子どもたちに次世代を担う子どもたちに「食」と「農」のを展開しております。JAでは青年部や女性部、作る、食べる」の一貫した流れの中ける取組みを行っています。今月は子どもたち部・女性部の活動の一部をご紹介します！

対する食農活動を支援しており、大切さを伝えるため、多くの活動部と連携して、子どもたちが「育で、食の現場と生産の現場を近づちをサポートしているJAと青年

第四小 4年生稲刈り体験

第四小学校4年生は10月11日、青年部員の管理する圃場で稲刈り体験学習を行いました。5月に自分たちで苗を植えた田んぼで稲刈りを行い、実りの秋を実感しました。地域農業を学ぶ機会として食農教育活動の一環として行われているもので、青年部の指導を受けながら稲刈りを楽しんでおりました。



大きいサツマイモが掘れたと大はしゃぎ

藤里学園 サツマイモ掘り

藤里学園の1・2年生と藤里幼稚園の年長児によるサツマイモの収穫が10月16日行われました。同学園の食育活動の一環として行われているもので、女性部員は畑サポーターとしてお手伝いし、5月に苗を植えた畑ではイモ掘りを楽しみながら、大きく成長したサツマイモの収穫に歓声をあげていました。

(表紙：藤里学園と藤里幼稚園の児童)



幼稚園年長さん、1年生、2年生が仲良くイモ掘りスタート



慣れない手つきで稲を刈り、悪戦苦闘



4年生74人が一斉に稲刈りスタート

浄城西小 5年生畑作体験

浄城西小学校5年生は10月3日、農業体験学習農場でねぎとサツマイモの収穫を体験しました。畑作体験は食や農業の大切さを子どもたちに伝えようと女性部が主体となって実施。今年度4回目となった畑作体験では大きく育ったねぎとサツマイモを収穫し、実りの秋に笑顔を見せておりました。

浅内小 ねぎ収穫・袋詰め・販売

浅内小学校5年生は10月27日、総合的な学習の時間で定植し育ててきた地元特産品のねぎの収穫並びに皮むき・袋詰め作業を行いました。(株)あさかわファーム代表とJA職員の指導の下、白神土ねぎとして120袋(1kg)準備。収穫されたねぎは、29日に開催された同校の「学習発表会」で保護者や地域住民を対象に1袋100円で販売し、あっという間に完売となりました。



ねぎ掘りに挑戦する浄城西小の児童たち



掘ったねぎの中から、販売するねぎを選別する児童

藤里学園 みそたんぽ作り

藤里学園3年生17人は10月25日、地元産の材料を使った「みそたんぽ作り」にチャレンジしました。味噌は今の3年生が昨年収穫した大豆を、6月に仕込んだみそを使用。女性部員3名のレクチャーを受けながら、焼き上げたたんぽに自ら作ったみそをぬり、にぎやかに調理。「たんぽはモチモチしていて、みそは甘くて美味しい」と楽しんでおりました。



焼いたたんぽに自作のみそをつける児童



大きく育った大量のサツマイモを収穫カゴに運ぶ園児

第一保育所 サツマイモ掘り

第一保育所の園児によるサツマイモ掘りが11月1日に行われました。青年部員の指導のもと、6月中旬に定植した200本のサツマイモは大きく育ち、大量の収穫に大喜び。なかなか抜けないサツマイモに園児は苦戦しながらも、お友達同士で協力しながら、収穫を楽しんでおりました。

来月のあなたの運勢 (2023年12月)